

令和5年度全国体力・運動能力、 運動習慣等調査の結果について

令和6年2月 登別市教育委員会

I 調査の概要

1 調査の目的

- 子どもの体力・運動能力、運動習慣や生活習慣等を把握し、分析することにより、子どもの体力・運動能力、運動習慣等の向上に係る施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、そのような取組を通じて、子どもの体力の向上に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。
- 各学校が児童生徒の体力や、運動習慣や生活習慣等を把握し、学校における体育・健康等に関する指導などの改善に役立てる。

2 調査対象学年

小学校第5学年、中学校第2学年

3 調査の内容

① 児童・生徒に対する調査

ア 実技に関する調査（測定方法等は新体力テストの方法による。）

〔小学校8種目〕握力、上体起こし、長座体前屈、反復横とび、20mシャトルラン、50m走、立ち幅とび、ソフトボール投げ

〔中学校8種目〕握力、上体起こし、長座体前屈、反復横とび、持久走（男子1500m、女子1000m）又は20mシャトルラン、50m走、立ち幅とび、ハンドボール投げ

イ 質問紙調査

運動習慣、生活習慣等に関する質問紙調査

② 学校に対する質問紙調査

ア 子どもの体力・運動能力等の向上に関する取組等の調査

イ 実施状況に関する調査

4 調査期間

令和5年4月から7月までの期間で実施

5 調査の実施状況（公立学校）

	小学校		中学校	
	学校数（校）	児童数（人）	学校数（校）	生徒数（人）
全国	18,693	977,758	9,427	867,914
北海道（札幌市を含む）	963	36,976	597	34,605
登別市	8	326	5	250

6 用語解説と説明

体力テスト種目		単位	体力要素	測定
①	握力	kg	筋力	左右握力の平均値
②	上体起こし	回	筋パワー・筋持久力	30秒間に上体を起こした回数
③	長座体前屈	cm	柔軟性	長座位で前屈したときの両手の前方への移動距離
④	反復横跳び	点	敏捷性	20秒間に両脚で左右速報に反復跳躍した回数
⑤ 1	持久走（中学校選択）	秒	全身持久力・長距離走能力	男子 1500m、女子 1000mの走行時間
⑤ 2	20mシャトルラン	回	全身持久力	20m走行の折り返し回数
⑥	50m走	秒	疾走能力	50mの疾走時間
⑦	立ち幅跳び	cm	筋パワー・跳躍能力	両脚で前方へ跳躍した直線距離
⑧ 1	ソフトボール投げ（小学校）	m	巧緻性・投球能力	ソフトボールを遠投した距離
⑧ 2	ハンドボール投げ（中学校）	m	巧緻性・投球能力	ハンドボールを遠投した距離
体力合計点		点	8種目の体力テスト成績を1点から10点に得点化して総和した体力テスト合計得点	
総合評価		5段階	8種目の体力テストをすべて実施した場合、体力テスト合計得点の良い方から、ABCDEの5段階で評定した体力の総合評価	

用語	解説
標本数	平均値、標準偏差、T得点を算出した人数
平均値	調査結果（テスト成績）の算術平均値で集団の尺度上の位置を示す。 「平均値＝調査結果の総和/標本数」
標準偏差	調査結果の個人差の大きさを示す。平均値±標準偏差の範囲内に全体の68%が入る。
	平均値±標準偏差の3倍の範囲内にほぼ全体が入る。
	「標準偏差＝分散の平方根、分散＝偏差平方和/（標本数-1）、 偏差平方和＝偏差の平方の総和、偏差＝調査結果－平均値」
T得点	全国平均値に対する相対的な位置を示し、単位や標準偏差が異なる調査結果を比較する。
	平均値50点、標準偏差10点の標準得点。「T得点＝50＋10×（調査結果－平均値）/標準偏差」

※全国の平均値に対する相対的な位置（T得点：全国平均を50.0と本市の差を、次の通り表記している）

- ① 2点以上……上回っている
- ② 1点以上～2点未満……やや上回っている
- ③ ±1点未満……ほぼ同程度
- ④ -1点以下～-2点未満……やや下回っている
- ⑤ -2点以下……下回っている

＜標準体重と肥満度判定＞「児童・生徒の健康診断マニュアル（改訂版）」より
 平成 18 年 3 月 31 日発行 財団法人日本保健会

- ・標準体重 = $a \times \text{身長 (cm)} - b$
- ・肥満度 (%) = $[\text{自分の体重 (kg)} - \text{標準体重 (kg)}] \div \text{標準体重 (kg)} \times 100$

標準体重を求める係数

年齢	男子		女子	
	a	b	a	b
9 (小4)	0.687	61.390	0.652	56.992
10 (小5)	0.752	70.461	0.730	68.091
11 (小6)	0.782	75.106	0.803	78.846
12 (中1)	0.783	75.642	0.796	76.934
13 (中2)	0.815	81.348	0.655	54.234
14 (中3)	0.832	83.695	0.594	43.264

判定基準

肥満度	判定
50%以上	高度肥満
30~49.9%	中等度肥満
20~29.9%	軽度肥満
-19.9~19.9%	普通
-29.9~-20%	やせ
-30%以下	高度やせ

Ⅱ 体格と肥満度に関する調査の結果と考察

小学校男子		R 3 登別	T 得点	R 4 登別	T 得点	R 5 登別	T 得点	全 国	北海道
身長 (cm)		139.59	50.5	140.03	50.8	139.51	49.8	139.61	140.03
体重 (kg)		36.45	51.8	37.57	52.6	35.67	50.4	35.35	37.03
肥満傾向児・ 痩身傾向児の出現 (%)	高度肥満	2.4		3.9		1.1		1.4	2.7
	中等度肥満	7.1		5.9		9.3		5.6	9.3
	軽度肥満	7.1		8.6		7.1		6.7	8.4
	普通	82.1		79.6		79.1		83.5	77.2
	やせ	1.2		2.0		3.3		2.7	2.3
	高度やせ	0.0		0.0		0.0		0.1	0.0

小学校女子		R 3 登別	T 得点	R 4 登別	T 得点	R 5 登別	T 得点	全 国	北海道
身長 (cm)		142.21	51.9	142.30	51.5	141.98	51.0	141.26	141.92
体重 (kg)		36.47	52.2	36.79	51.9	36.59	51.8	35.24	36.57
肥満傾向児・ 痩身傾向児の出現 (%)	高度肥満	0.6		1.3		2.9		0.8	2.9
	中等度肥満	5.1		5.1		3.6		3.7	3.6
	軽度肥満	4.4		5.7		9.4		5.3	9.4
	普通	87.3		84.2		82.7		87.4	82.7
	やせ	2.5		3.2		1.4		2.8	1.4
	高度やせ	0.0		0.6		0.0		0.1	0.0

中学校男子		R 3 登別	T 得点	R 4 登別	T 得点	R 5 登別	T 得点	全 国	北海道
身長 (cm)		161.39	51.0	161.13	50.1	161.74	50.8	161.17	166.2
体重 (kg)		50.02	50.3	51.46	51.0	50.33	50.1	50.22	52.29
肥満傾向児・痩身傾向児の出現(%)	高度肥満	1.2		3.9		1.7		1.5	2.6
	中等度肥満	3.0		2.0		5.1		4.1	6.3
	軽度肥満	3.6		7.2		4.2		5.0	5.7
	普通	90.4		80.9		85.6		86.2	82.3
	やせ	1.8		5.3		3.4		3.0	2.9
	高度やせ	0.0		0.7		0.0		0.2	0.2

中学校女子		R 3 登別	T 得点	R 4 登別	T 得点	R 5 登別	T 得点	全 国	北海道
身長 (cm)		155.27	50.7	154.22	48.7	155.14	50.4	154.94	155.13
体重 (kg)		47.86	51.2	46.54	49.3	47.33	50.6	46.87	47.44
肥満傾向児・痩身傾向児の出現(%)	高度肥満	1.3		0.7		0.0		0.6	1.1
	中等度肥満	1.9		4.9		3.2		2.4	3.5
	軽度肥満	3.2		2.8		5.6		4.0	4.5
	普通	93.0		89.4		88.0		88.9	87.0
	やせ	0.6		2.1		3.2		3.8	3.8
	高度やせ	0.0		0.0		0.0		0.2	0.2

<小学校：体格と肥満度について>

- 「身長」について、男子は全国平均とほぼ同程度であり、女子は全国平均をやや上回っている。
- 「体重」について、男子は全国平均とほぼ同程度であり、女子は全国平均をやや上回っている。
- 肥満痩身傾向について、男子の肥満傾向は全国平均を 3.8 ポイント上回り、痩身傾向は全国平均を 0.5 ポイント上回っている。女子の肥満傾向は、全国平均を 6.1 ポイント上回り、痩身傾向は全国平均を 1.5 ポイント下回っている。

<中学校：体格と肥満度について>

- 「身長」について、男女ともに全国平均とほぼ同程度である。
- 「体重」について、男女ともに全国平均とほぼ同程度である。
- 肥満痩身傾向について、男子の肥満傾向は全国平均を 0.4 ポイント上回り、痩身傾向は全国平均を 0.2 ポイント上回っている。女子の肥満傾向は、全国平均を 1.8 ポイント上回り、痩身傾向は全国平均を 0.8 ポイント下回っている。

<考察>

- 小学生の肥満傾向が全国平均を上回っていることから、学校や家庭で「日常の運動の奨励」や「食育の指導」などの取組を継続していく必要がある。

Ⅲ 実技調査検査に関する調査の結果と考察

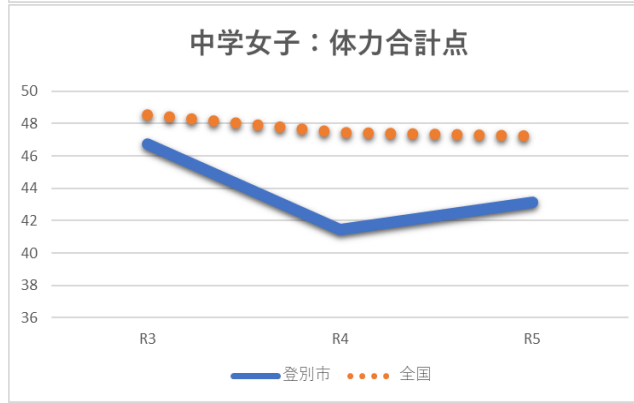
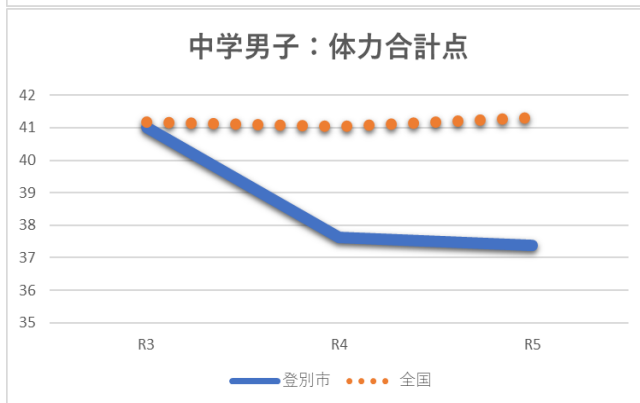
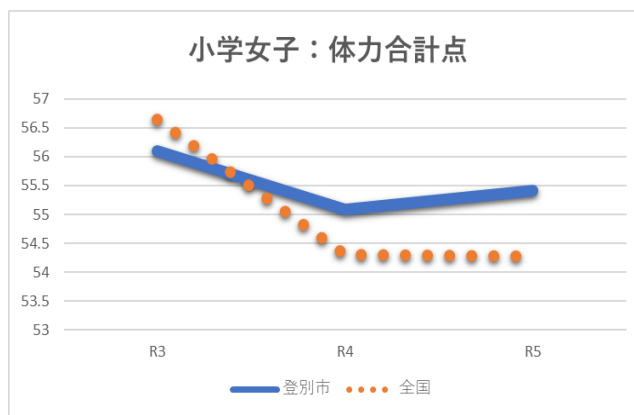
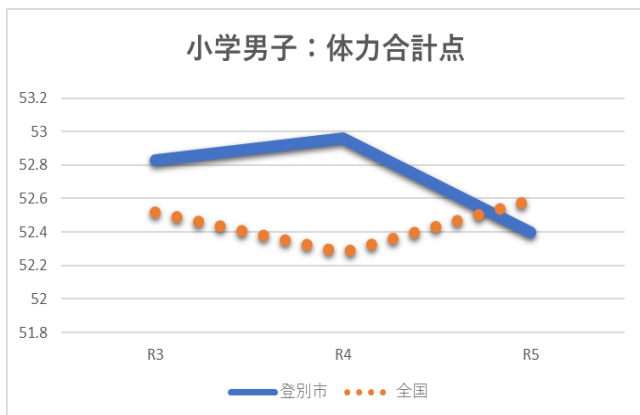
小学校男子	R 3 登別	T 得点	R 4 登別	T 得点	R 5 登別	T 得点	全国	北海道
握力 (kg)	15.62	48.5	15.72	48.8	15.40	48.1	16.13	17.00
上体起こし (回)	18.42	49.2	18.55	49.5	18.15	48.6	19.00	18.97
長座体前屈 (cm)	35.14	51.9	36.26	52.8	35.87	52.2	33.98	34.17
反復横とび (点)	42.36	52.4	42.74	52.8	42.02	51.7	40.60	41.83
20 m シャトルラン (回)	50.41	51.7	46.92	50.5	49.99	51.4	46.92	45.76
50m走 (秒)	9.83	46.5	9.94	46.7	9.84	46.8	9.48	9.75
立ち幅とび (cm)	150.4	49.6	154.37	51.5	149.86	49.5	151.13	152.37
ソフトボール投げ (m)	20.33	49.7	19.68	49.2	19.74	49.0	20.52	21.06
体力合計点 (点)	52.83	50.3	52.96	50.7	52.40	49.8	52.59	52.81
総合評価 (%)	A	14.9		12.3		10.8	10.4	11.1
	B	20.1		22.6		25.0	21.8	22.9
	C	27.3		28.8		25.6	32.1	30.7
	D	21.4		22.6		22.2	23.2	22.5
	E	16.2		13.7		16.5	12.6	12.8

小学校女子	R 3 登別	T 得点	R 4 登別	T 得点	R 5 登別	T 得点	全国	北海道
握力 (kg)	16.67	51.5	16.04	49.9	16.30	50.7	16.01	16.85
上体起こし (回)	17.84	49.6	17.30	48.7	17.17	48.4	18.05	18.05
長座体前屈 (cm)	40.31	52.7	40.11	52.1	42.74	54.7	38.45	38.60
反復横とび (点)	41.19	53.3	40.89	53.0	40.11	51.8	38.73	39.96
20 m シャトルラン (回)	41.08	51.8	37.90	50.6	39.01	51.4	36.80	36.12
50m走 (秒)	9.78	48.4	9.90	48.0	9.92	47.8	9.71	9.92
立ち幅とび (cm)	146.71	50.7	148.98	52.0	145.12	50.4	144.29	145.56
ソフトボール投げ (m)	14.81	53.2	13.87	51.5	14.01	51.6	13.22	13.91
体力合計点 (点)	56.1	51.6	55.08	50.9	55.41	51.3	54.28	54.71
総合評価 (%)	A	21.0		17.3		17.6	13.3	14.6
	B	23.0		24.0		25.2	23.9	25.2
	C	33.1		32.0		26.7	33.5	32.3
	D	16.2		20.0		25.2	21.3	19.9
	E	6.8		6.7		5.3	8.0	8.0

中学校男子	R 3 登別	T 得点	R 4 登別	T 得点	R 5 登別	T 得点	全国	北海道
握力 (kg)	27.86	48.7	27.76	48.3	28.03	48.6	29.02	29.57
上体起こし (回)	26.41	50.7	24.08	47.3	23.02	45.5	25.82	25.17
長座体前屈 (cm)	43.36	49.7	42.70	48.9	42.33	48.4	44.16	42.38
反復横とび (点)	50.12	49.9	48.61	47.3	46.65	44.8	51.22	49.87
持久走 (秒)	445.54	44.5	422.13	48.3	452.03	43.7	409.02	426.28
20 m シャトルラン (回)	82.81	51.2	71.51	47.5	74.14	48.5	78.07	74.26
50m走 (秒)	8.08	49.3	8.41	46.8	8.36	46.3	8.01	8.20
立ち幅とび (cm)	200.70	51.5	196.73	49.9	191.24	48.1	197.02	194.57
ハンドボール投げ (m)	20.32	50.0	18.62	47.3	18.87	47.6	20.40	20.08
体力合計点 (点)	41.01	49.8	37.62	46.8	37.39	46.4	41.32	40.00
総合評価 (%)	A	7.9	5.3		3.0		8.6	6.1
	B	23.0	16.7		18.0		24.1	22.8
	C	34.9	34.2		32.0		34.6	34.3
	D	27.6	27.2		31.0		23.6	24.7
	E	6.6	16.7		16.0		9.1	12.2

中学校女子	R 3 登別	T 得点	R 4 登別	T 得点	R 5 登別	T 得点	全国	北海道
握力 (kg)	22.49	48.0	21.38	46.1	22.60	48.8	23.15	23.03
上体起こし (回)	20.45	46.8	19.70	46.7	18.13	44.2	21.62	20.67
長座体前屈 (cm)	46.83	50.6	44.38	48.4	44.40	48.2	46.27	45.02
反復横とび (点)	44.72	47.8	41.92	44.7	43.36	46.9	45.65	44.28
持久走 (秒)	317.93	45.6	309.73	48.6	353.32	40.4	306.26	328.86
20 m シャトルラン (回)	51.85	48.8	44.16	46.2	48.15	48.7	50.70	46.73
50m走 (秒)	9.01	48.5	9.25	47.0	9.16	47.7	8.95	9.15
立ち幅とび (cm)	168.12	50.0	161.04	47.7	161.38	48.1	166.34	162.04
ハンドボール投げ (m)	12.72	50.0	11.73	48.3	11.59	48.0	12.43	12.17
体力合計点 (点)	46.74	48.4	41.42	44.8	43.11	46.5	47.22	45.06
総合評価 (%)	A	20.6	6.0		12.7		23.8	18.0
	B	30.5	29.3		30.4		29.1	28.4
	C	29.8	33.6		24.5		28.1	29.5
	D	14.9	20.7		23.5		15.2	18.2
	E	4.3	10.3		8.8		3.9	5.9

<実技調査結果経年比較（令和3年度～令和5年度）>



<小学校：実技調査について>

男子

○「長座体前屈」は全国平均を上回り、「反復横とび」「20mシャトルラン」はやや上回り、「立ち幅とび」は同程度であり、「握力」「上体起こし」「ソフトボール投げ」はやや下回り、「50m走」は下回っている。

○体力合計点について、全国平均を下回っている。

女子

○「長座体前屈」は全国平均を上回り、「反復横とび」「20mシャトルラン」「ソフトボール投げ」はやや上回り、「握力」「立ち幅とび」は同程度であり、「上体起こし」はやや下回り、「50m走」は下回っている。

○体力合計点について、全国平均を上回っている。

<中学校：実技調査について>

男子

○「握力」「長座体前屈」「20mシャトルラン」「立ち幅とび」は全国平均をやや下回り、「上体起こし」「反復横とび」「持久走」「50m走」「ハンドボール投げ」は全国平均を下回っている。

○体力合計点について、経年変化で見ると、全国平均と差が開きつつある。

女子

○「握力」「長座体前屈」「20mシャトルラン」「立ち幅とび」は全国平均をやや下回り、「上体起こし」「反復横とび」「持久走」「50m走」「ハンドボール投げ」は全国平均を下回っている。

○体力合計点について、全国平均を下回っている。

<考察>

○小学生は「長座体前屈」「反復横跳び」「20mシャトルラン」について全国平均を上回っていることから、柔軟性、敏捷性、全身持久力といった体力要素が備わっていると考えられる。

○小・中学生ともに「上体起こし」「50m走」について全国平均を下回っていることから、筋パワー・筋持久力、疾走能力を高める取組を進めていく必要がある。

○課題を改善するため、児童生徒が課題意識をもち、自ら目標を設定し計画的に改善を進められるように働きかけるとともに、学校が体育の授業・行事・児童会生徒会の企画等の中で、課題となっている筋力や能力を高める動きを取り入れ、定期的に改善状況を計測し、授業改善等を進めることが大切である。

また、家庭と連携し、日常生活の中で、児童生徒の運動習慣が身に付くように働きかける必要がある。

IV-1 児童生徒質問紙調査の結果

		運動（体を動かす遊びをふくむ）やスポーツをすることが好きですか。			
		好き	やや好き	やや嫌い	嫌い
小学校男子	全国	72.1%	20.8%	4.8%	2.3%
	北海道	74.2%	19.8%	4.0%	1.9%
	登別市	71.5%	17.7%	8.1%	2.7%
小学校女子	全国	54.5%	31.2%	9.9%	4.5%
	北海道	56.9%	30.1%	8.8%	4.2%
	登別市	60.7%	28.6%	8.6%	2.1%
中学校男子	全国	63.4%	26.0%	7.0%	3.6%
	北海道	67.1%	22.9%	6.2%	3.8%
	登別市	66.4%	23.8%	3.3%	6.6%
中学校女子	全国	43.1%	33.4%	15.3%	8.2%
	北海道	45.3%	31.6%	14.7%	8.5%
	登別市	48.4%	29.7%	14.8%	7.0%

		朝食は毎日食べますか。（学校が休みの日もふくめます）			
		毎日食べる	食べない日もある	食べない日が多い	食べない
小学校男子	全国	80.8%	15.1%	3.0%	1.1%
	北海道	74.3%	20.5%	3.9%	1.3%
	登別市	71.7%	25.0%	2.7%	0.5%
小学校女子	全国	79.4%	16.9%	2.9%	0.8%
	北海道	71.6%	22.3%	5.0%	1.1%
	登別市	59.7%	28.1%	10.8%	1.4%
中学校男子	全国	79.9%	13.7%	4.0%	2.4%
	北海道	74.2%	17.3%	5.5%	3.0%
	登別市	66.4%	14.8%	12.3%	6.6%
中学校女子	全国	72.7%	20.5%	4.7%	2.1%
	北海道	64.2%	26.4%	6.4%	2.9%
	登別市	64.8%	25.8%	8.6%	0.8%

		平日（月～金曜日）、学習以外で、1日にどのくらいの時間、テレビやDVD、ゲーム機、スマートフォン、パソコンなどの画面を見ていますか。						
		5時間以上	4時間以上 5時間未満	3時間以上 4時間未満	2時間以上 3時間未満	1時間以上 2時間未満	1時間未満	全く見ない
小学校 男子	全国	17.6%	10.6%	14.1%	21.1%	22.9%	11.9%	1.8%
	北海道	21.9%	12.2%	15.1%	20.8%	19.5%	9.0%	1.5%
	登別市	19.9%	8.8%	14.4%	23.8%	23.2%	9.4%	0.6%
小学校 女子	全国	13.8%	10.0%	13.2%	19.7%	24.2%	16.7%	2.4%
	北海道	18.6%	12.6%	14.3%	19.7%	20.7%	12.4%	1.7%
	登別市	21.2%	9.5%	13.9%	24.1%	21.9%	8.0%	1.5%
中学校 男子	全国	17.7%	12.0%	18.4%	26.5%	19.7%	5.0%	0.7%
	北海道	23.2%	13.4%	19.3%	23.8%	15.6%	4.1%	0.6%
	登別市	25.0%	9.2%	16.7%	31.7%	16.7%	0.8%	0.0%
中学校 女子	全国	16.4%	12.0%	18.5%	25.8%	20.3%	6.4%	0.5%
	北海道	21.0%	14.5%	19.1%	23.8%	16.3%	4.8%	0.5%
	登別市	18.0%	13.3%	25.0%	28.9%	9.4%	4.7%	0.8%

		体育の授業で、タブレットなどのICTを使って学習することで「できたり、わかったり」することがありますか。				
		いつもある	だいたいある	あまりない	全くない	ICT活用なし
小学校男子	全国	20.8%	34.7%	21.9%	4.9%	17.7%
	北海道	21.3%	36.0%	23.8%	4.0%	14.9%
	登別市	10.8%	28.6%	22.2%	5.4%	33.0%
小学校女子	全国	18.5%	38.7%	21.1%	3.7%	18.0%
	北海道	19.5%	39.2%	22.5%	3.3%	15.5%
	登別市	17.3%	29.5%	17.3%	7.2%	28.8%
中学校男子	全国	18.8%	37.0%	18.9%	3.4%	21.9%
	北海道	21.2%	43.8%	20.2%	2.6%	12.2%
	登別市	9.1%	49.6%	14.9%	3.3%	23.1%
中学校女子	全国	14.3%	40.4%	19.2%	2.6%	23.6%
	北海道	17.6%	47.0%	20.2%	2.1%	13.1%
	登別市	8.7%	50.4%	18.9%	0.0%	22.0%

		体育の授業の最後に、その授業で学習したことを振り返る活動があることで、「できたり、わかったり」することがありますか。			
		いつもある	だいたいある	あまりない	全くない
小学校男子	全国	33.2%	43.8%	18.5%	4.5%
	北海道	31.8%	44.2%	19.2%	4.8%
	登別市	25.4%	49.2%	18.9%	6.5%
小学校女子	全国	30.5%	47.8%	18.4%	3.3%
	北海道	30.3%	47.5%	18.9%	3.3%
	登別市	26.1%	57.2%	10.1%	6.5%
中学校男子	全国	30.8%	49.1%	16.7%	3.4%
	北海道	30.4%	49.5%	17.0%	3.1%
	登別市	36.9%	45.9%	15.6%	1.6%
中学校女子	全国	27.6%	53.1%	16.7%	2.5%
	北海道	26.9%	53.7%	16.8%	2.6%
	登別市	25.8%	57.0%	15.6%	1.6%

<小学校：児童質問紙調査について>

男子

- 「運動（体を動かす遊びをふくむ）やスポーツをすることは好きである」と肯定的に回答した児童の割合が、全国平均を下回っている。
- 「朝食を毎日食べる」と回答した児童の割合が全国平均を下回っている。
- 「平日（月～金曜日）、学習以外で、テレビやDVD、ゲーム機、スマートフォン、パソコンなどの画面を1日2時間以上見ている」と回答した児童の割合が、全国平均を上回っている。
- 「体育の授業で、タブレットなどのICTを使って学習することで、『できたり、わかったりする』」と回答した児童の割合が全国平均を下回っている。
- 「体育の授業の最後に、その授業で学習したことを振り返る活動があることで、『できたり、わかったりする』」と肯定的に回答した生徒の割合が全国平均を下回っている。

女子

- 「運動（体を動かす遊びをふくむ）やスポーツをすることは好きである」と肯定的に回答した児童の割合が、全国平均を上回っている。
- 「朝食を毎日食べる」と回答した児童の割合が全国平均を下回っている。
- 「平日（月～金曜日）、学習以外で、テレビやDVD、ゲーム機、スマートフォン、パソコンなどの画面を1日2時間以上見ている」と回答した割合が、全国平均を上回っている。
- 「体育の授業で、タブレットなどのICTを使って学習することで、『できたり、わかったりする』」と回答した児童の割合が全国平均を下回っている。
- 「体育の授業の最後に、その授業で学習したことを振り返る活動があることで、『できたり、わかったりする』」と肯定的に回答した生徒の割合が全国平均を上回っている。

<中学校：生徒質問紙調査について>

男子

- 「運動（体を動かす遊びをふくむ）やスポーツをすることは好きである」と肯定的に回答した生徒の割合が、全国平均を上回っている。
- 「朝食を毎日食べる」と回答した生徒の割合が全国平均を下回っている。
- 「平日（月～金曜日）、学習以外で、テレビやDVD、ゲーム機、スマートフォン、パソコンなどの画面を1日2時間以上見ている」と回答した生徒の割合が、全国平均を上回っている。
- 「体育の授業で、タブレットなどのICTを使って学習することで、『できたり、わかったりする』」と回答した生徒の割合が全国平均を下回っている。
- 「保健体育の授業の最後に、その授業で学習したことを振り返る活動があることで、『できたり、わかったりする』」と肯定的に回答した生徒の割合が全国平均を上回っている。

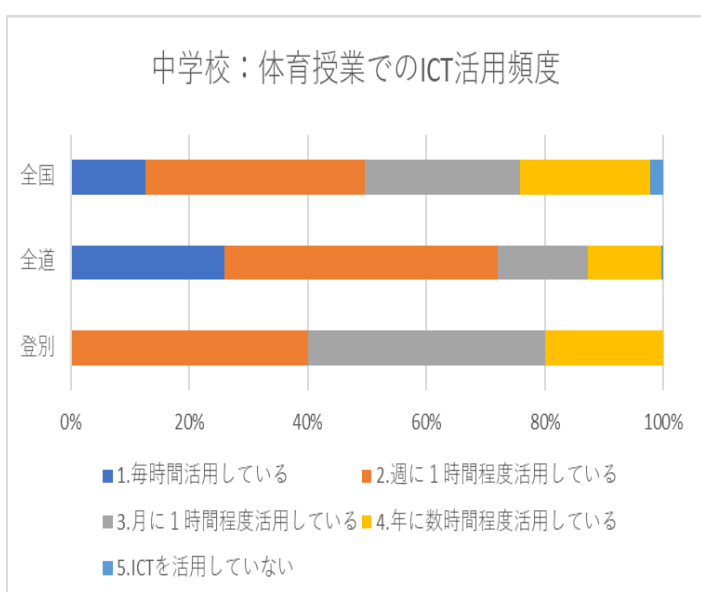
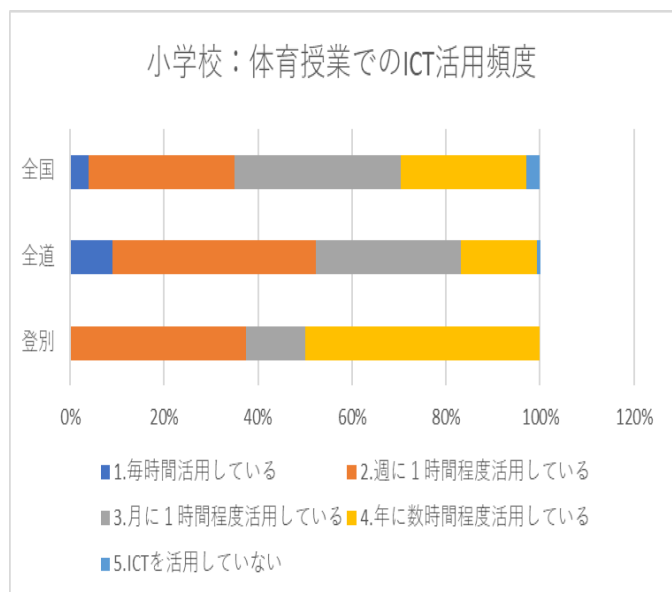
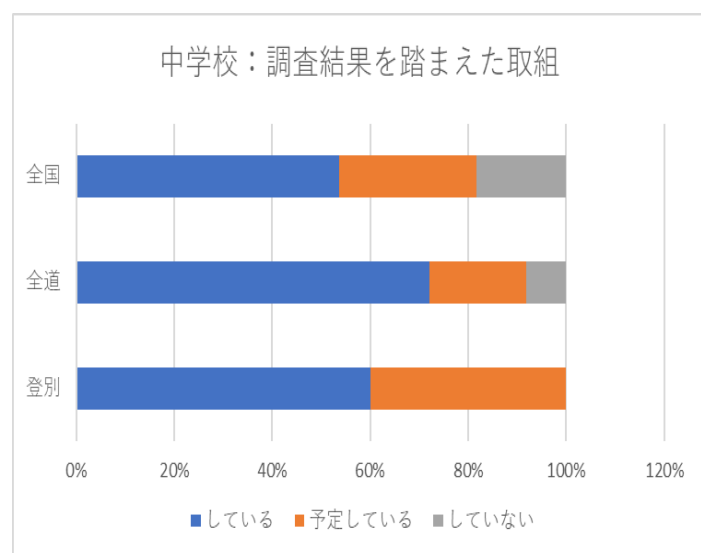
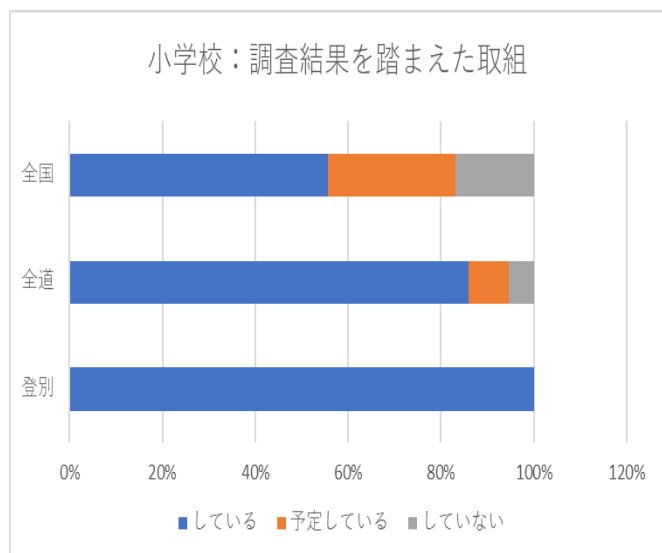
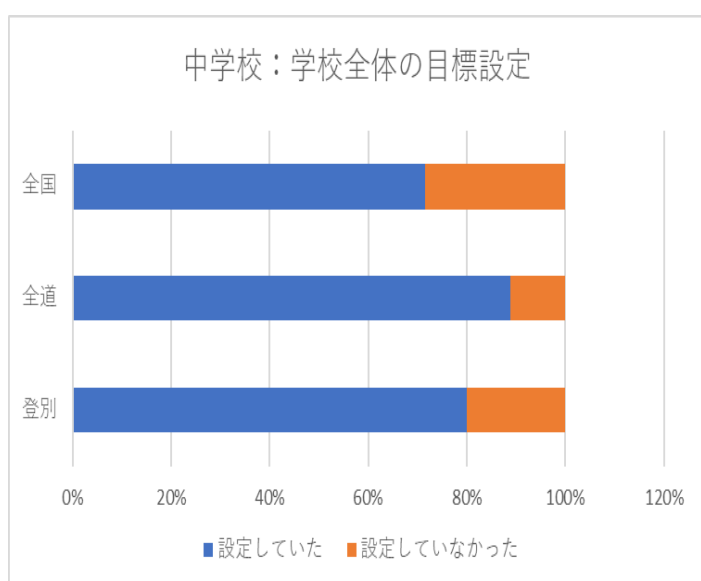
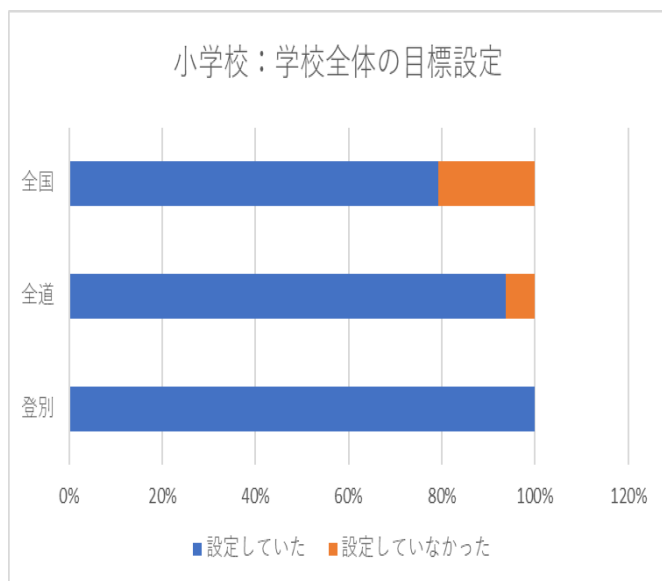
女子

- 「運動（体を動かす遊びをふくむ）やスポーツをすることは好きである」と肯定的に回答した生徒の割合が、全国平均を上回っている。
- 「朝食を毎日食べる」と回答した生徒の割合が全国平均を下回っている。
- 「平日（月～金曜日）、学習以外で、テレビやDVD、ゲーム機、スマートフォン、パソコンなどの画面を1日2時間以上見ている」と回答した生徒の割合が、全国平均を上回っている。
- 「体育の授業で、タブレットなどのICTを使って学習することで、『できたり、わかったりする』」と回答した生徒の割合が全国平均を下回っている。
- 「保健体育の授業の最後に、その授業で学習したことを振り返る活動があることで、できたり、わかったりする」と肯定的に回答した生徒の割合が全国平均を上回っている。

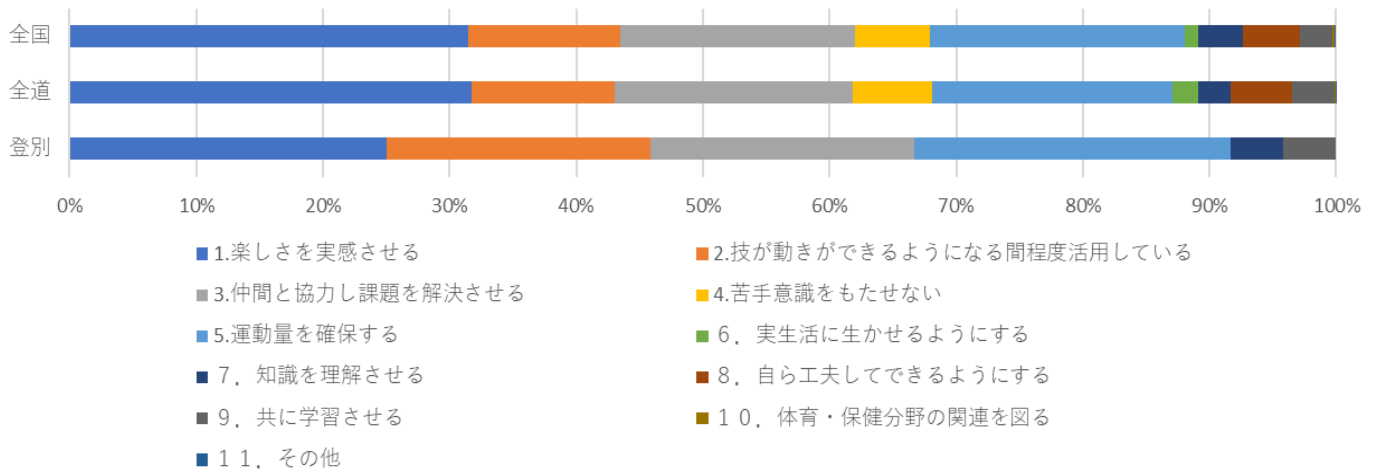
<考察>

- 「朝食を毎日食べる」と回答した児童生徒の割合が全国平均を下回っていることから、保護者、教職員、児童生徒が情報を共有し、生活習慣の改善を促すことが大切である。
- 「平日（月～金曜日）、学習以外で、テレビやDVD、ゲーム機、スマートフォン、パソコンなどの画面を1日2時間以上見ている」と回答した児童生徒の割合が、全国平均より上回っていることから、保護者、教職員、児童生徒が情報を共有し、生活習慣の改善を促すことが大切である。
- 「体育の授業で、タブレットなどのICTを使って学習することで、『できたり、わかったりする』」と回答した児童の割合が全国平均を下回っていることから、ICTの効果的な活用を一層進めていくことが大切である。

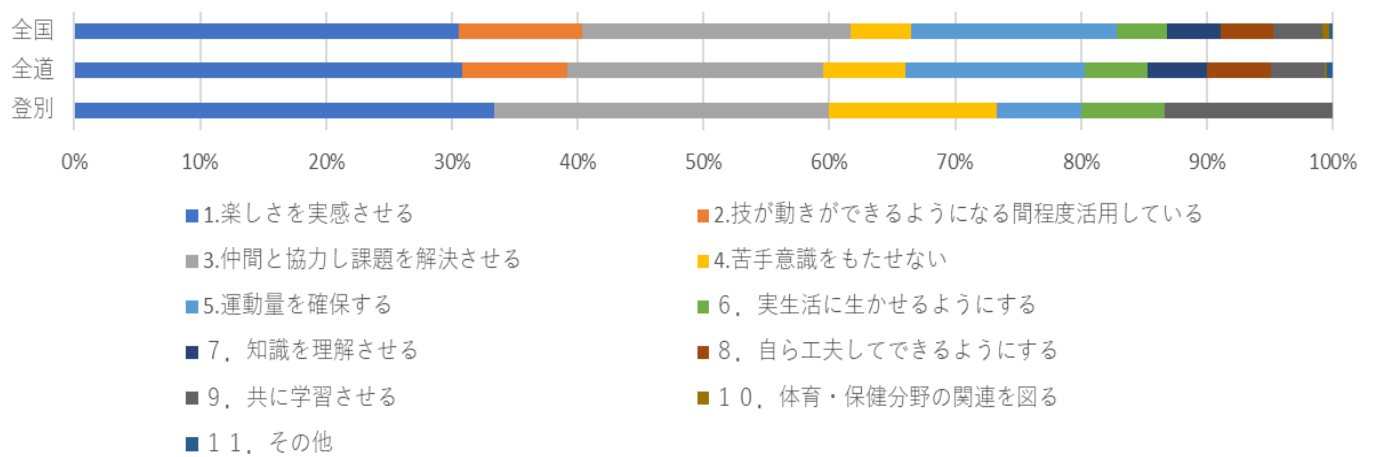
V 学校質問紙調査の結果



小学校：体育の授業で大切にしていること（上位3つ）



中学校：体育の授業で大切にしていること（上位3つ）



<学校の取組について>

- 学校全体の体力・運動能力向上の目標設定している学校の割合は、小学校で100%、中学校で80%となっており、全国平均を上回っている。
- 全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果を踏まえた取組を行っている学校の割合は、小学校で100%、中学校で60%となっており、小学校は全国平均を上回っているが、中学校は全道平均を下回っている。
- 体育の授業でのICTの活用状況について、毎時間活用している学校はなく、全国と比べて活用頻度が少ない。
- 体育の授業で大切にしていること（11項目中上位3項目を選択）について、小学校は、「体を動かすことの楽しさを実感させること」「技や動きができるようになること」「仲間と協力して課題を解決すること」「運動量を確保すること」を、中学校は「体を動かすことの楽しさを実感させること」「仲間と協力して課題を解決すること」「苦手意識をもたせないこと」「共に学習させること」を体育の授業で大切にしている。

<考察>

- 体力向上に係る「目標設定」や「調査結果を踏まえた取組」を実施していると回答した学校は、全国平均を上回っているが、児童生徒の体力・運動能力の向上につながっていないため、課題となっている筋力や能力を焦点化し、継続的に改善に取り組み、定期的に改善状況を把握するなど、短いサイクルで授業改善等を進めることが大切である。
- 中学校において、「技や動きができるようになること」「運動量を確保すること」を体育の授業で大切にしている割合が全国より低いこと、生徒の実技調査結果が全国平均を下回っていることから、技や動きの習得や運動量を確保することを意識した授業を実践することが大切である。